

くたに
久谷地区

面積：44.65 km²
人口：10,078 人（高齢化率 35.7%）
世帯数：4,795 世帯

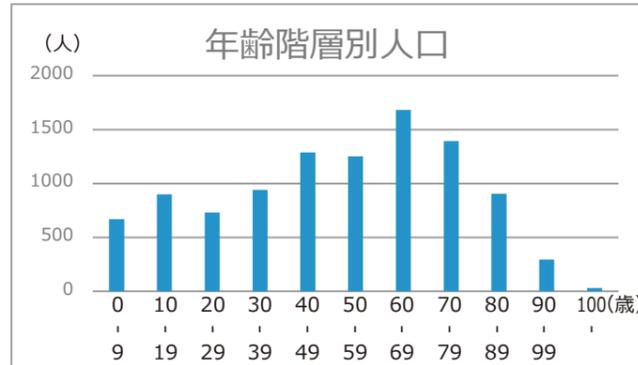


【地区の特色】

久谷地区は、松山市の南部に位置し、緑豊かな田園地帯である。文化財などの史跡伝説の町でもあり、また、昭和 38 年に決議された文教宣言に基づき、生涯教育の推進をモットーとしている。伝統文化の継承や仲間づくり、青少年の健全育成を図り、また、近隣愛を高めながらふるさとの再発見活動を展開している。



三坂峠から見る久谷



【地域住民からみた地域の状況】

地区の強み	<ul style="list-style-type: none"> ・近所の人協力してくれる ・おせっかいの文化がある ・昔からの集落なので隣近所 3 代に渡って顔見知り ・元気な高齢者が多い ・町内会のシステムが確立している ・自主防災の意識が強い ・地区の若い人が活動をしている
地区の弱み	<ul style="list-style-type: none"> ・家と家が遠い ・交通機関がなく通勤通学に不便 ・市街化調整区域で新しい住宅が建設できない ・空き家が多い ・高齢者を雇う事業所がない ・80 歳代以降の年金額が少ない（農業従事のため） ・少子高齢化が進んでいる ・過疎と高齢化に伴い、行事等の共同作業が困難になりつつある
福祉課題	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者、独居高齢者が多く、見守り等が必要 ・空き家が多い ・子どもが減っていて伝統文化の継承が難しい ・高齢化により、地区の行事での共同作業が困難になりつつある ・買い物、通院の交通が不便

久谷地区社会福祉協議会

ふれあい、助け合い、おもてなしの里「くたに」

構成団体	地区民協・総代会・公民館・自治会・高齢クラブ連合会・女性連絡協議会 協力会・PTA・中学校・小学校・交通安全協会・福祉施設・支所
主な取り組み	活動内容
福祉だよりの発行	年 2 回 7,000 部を作成し、地域福祉に関する情報を発信するため回覧にて全戸配布しています。
交流会の開催	年齢の違いやハンデのある子どもから高齢者までがお互いを理解し一緒に楽しめる季節ごとのイベントを年に 10 回開催しています。
福祉講座の開催	年に 4 回開催しており、介護保険や服薬など高齢者の暮らしに必要な情報をテーマ設定し、専門分野の方を講師にお迎えして開催しています。

年賀施設訪問（1月頃）

毎年約 50 箱のミカン箱を久谷地区にある高齢・障がい者施設へお年賀として贈呈しています。お届けする地区社協の担当者も顔を見て直接お渡しすることで、受け取っていただく方の笑顔を見ることができ、お互いが毎年楽しみにしている行事となっています。



<地区社協が目指すもの>

少子高齢化が進み、現在、高齢化率は 35% を超えています。今後高齢者のみの世帯が増えてくる事が懸念されるこの地域では「ふれあい、助け合い、おもてなしの里「くたに」」を基本理念とし、地域で誰もがいつまでも安心して心豊かに暮らせる街づくりを目指して、今まで以上に地域内交流を盛んにし、伝統文化等の継承と仲間づくり、青少年健全育成と三世代の交流を深め、近隣愛と地域愛のある活動を進めていきます。

地区の状況	■ 地区民協 民生委員 主任児童委員	18 名 2 名	■ 町内会・自治会・区長会等	14 団体
	■ まち協の設立	平成 28 年度	■ 高齢クラブ	14 クラブ
			■ 子ども会	20 団体
			■ 自主防災組織	29 組織

お遍路さんへのお接待の文化が残る地域であるとともに、お互いの孫の顔までわかる向こう三軒両隣の助け合いや共同作業の風習が強く残っている地区です。また、地区内に福祉施設等が多く、地区社協としても「年賀施設訪問」など定期的な交流を図っています。このお接待をベースとする施設訪問や近隣のつながり、若い人の地区活動への参加などにみられる「つながりの強さ」は他の自治体では簡単にまねのできない地区の大きな財産だといえます。世代間などの交流会が年に 10 回も開催できることはその裏方である地区社協のつながりの強さを表しているといえます。この地区に子どもを育ててもらった親世代が次の地区社協を担うなど、世代間のプラスの連鎖が期待できます。



地域カルテ ～地区ごとにみる地域特性～

『地域カルテ』とは

日常生活における不安や悩み、生活課題が複雑化する中、私たちが安心して暮らせるまちづくりに取り組むためには、まずは自分たちが生活する地域を知ることが必要です。自分たちの地域がどのような状況にあるのか、いわゆる地域の健康状態の記録(カルテ)を作成することで、その時々自分たちの地域の強みや弱みを把握するとともに、地域の魅力や課題を共有することにより、住民の地域福祉活動への参加意識の醸成と今後の活動の活性化につなげることが可能となります。今後は小地域ごとに様々な視点から、より詳細な地域分析を行い、それらをもとに地域の特性に応じたまちづくりに取り組んでいくものです。

第1	五明地区
	伊台地区
	湯山地区

第6	宮前地区
	三津浜地区
	高浜地区
	興居島地区
	中島地区

第8	浅海地区
	立岩地区
	難波地区
	正岡地区
	北条地区
	河野地区
	粟井地区
	立岩地区

第2	久米地区
	浮穴地区
	小野地区
	石井東地区
	石井西地区
久谷地区	

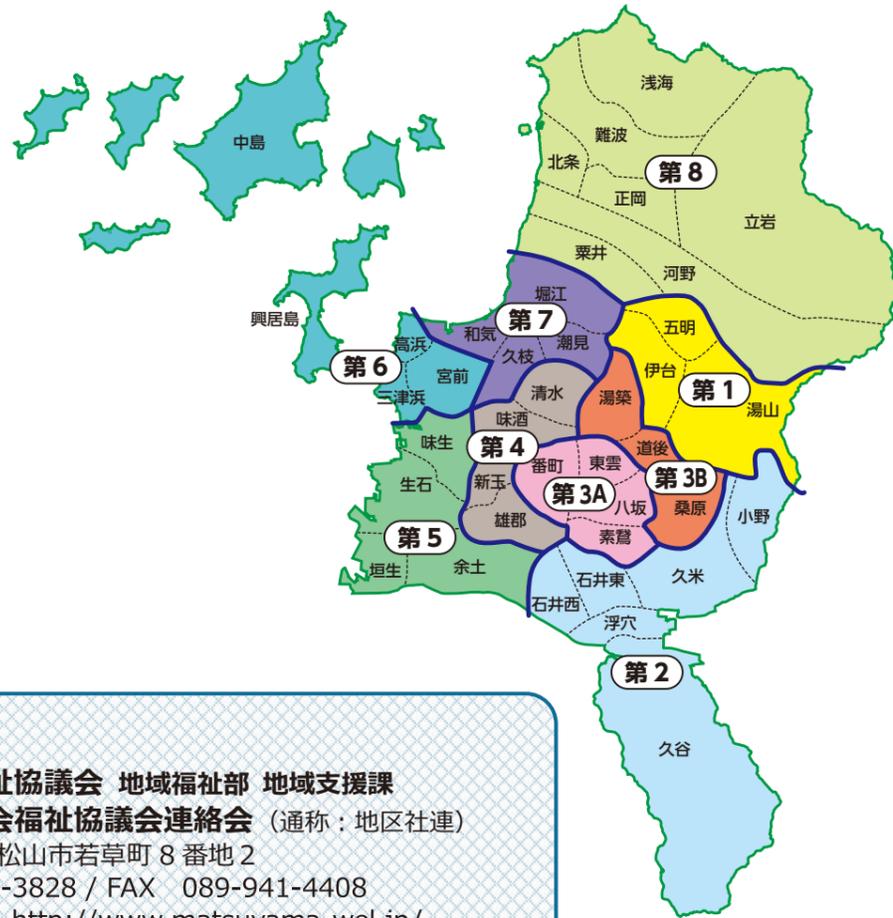
第7	潮見地区
	久枝地区
	和気地区
	堀江地区

第3A	番町地区
	八坂地区
	東雲地区
	素鷲地区

第3B	道後地区
	湯築地区
	桑原地区

第4	雄郡地区
	新玉地区
	清水地区
	味酒地区

第5	余土地地区
	垣生地地区
	生石地区
	味生地地区



発行日 平成31年3月

発行 松山市社会福祉協議会 地域福祉部 地域支援課
松山市地区社会福祉協議会連絡会 (通称: 地区社連)
〒790-0808 松山市若草町8番地2
TEL 089-941-3828 / FAX 089-941-4408
Web アドレス <http://www.matsuyama-wel.jp/>

作成 地区社会福祉協議会 / 松山市社会福祉協議会

<『地域カルテ』の見方>

掲載情報は随時、追加・更新し、各地区の地域福祉推進に活用していきます!

①地区の概要

- ・面積、人口、世帯数、高齢化率は松山市地区別推計人口、また、年齢階層別人口は松山市地区別年齢別住民基本台帳登録の平成30年4月1日現在のデータを記載しています。
- ・地区の特徴は松山市公民館連絡協議会ホームページを参考にしています。

②地域住民からみた地域の状況

- ・研修会のワークショップや会議の意見として、地区社協関係者や民生委員・児童委員をはじめとする地域住民の方々から出された内容をまとめて記載しています。

③地区社協の概要と取り組み

- ・平成30年度現在の各地区社協の活動状況及び地区社協が目指すものを記載しています。

④地区内関係団体データ

■地区民協	平成30年4月1日現在の定数
■まち協の設立	平成30年11月1日現在の設置状況
■町内会等	平成30年度町内会等状況調査(基準日:平成30年6月1日)
■高齢クラブ	松山市高齢クラブ連合会登録数(平成30年4月1日現在)
■子ども会	平成30年度松山市子ども会連合会加入数
■自主防災組織	自主防災組織 地区別結成状況(平成30年4月1日現在)

⑤地域福祉推進のポイント

- ・聖カタリナ大学 教授 恒吉和徳氏をはじめとする学識経験者の皆様から地域福祉推進に向けたコメントをいただいております。

《ご協力いただいた聖カタリナ大学の先生方》

教授 田中顕悟氏、准教授 村岡則子氏、准教授 釜野鉄平氏、助教 近藤益代氏